

## 重点プロジェクトへの取り組み

### 1 若者が暮らしたいまちを創る

～特に若者の雇用の場の確保や定住環境の向上への取り組みとして～

- ▶ 企業立地促進奨励事業費補助金 1,000万円
- ▶ 住宅建設資金金利負担軽減補助金 2,415万円
- ▶ 定住促進住宅取得支援補助金 250万円

町内に住宅を取得する際の費用や住宅ローンの金利を補助します。



- ▶ 若年者移住定住促進家賃補助金 702万円
- ▶ 移住支援事業費補助金 160万円

### 2 女性にとって魅力的なまちを創る

～特に子育て中の働く女性への支援策として～

- ▶ 子ども医療費給付費 5,733万円
- ▶ 子育て支援対策事業 611万円
- ▶ 待機児童支援事業 527万円
- ▶ ファミリー・サポート・センター事業 180万円
- ▶ 在宅子育て応援金 759万円

在宅で子育てする家庭に応援金を補助します。



### 3 活力と特色のある地域を創る

～特に人口減少の中で地域づくりを進めるための支援策として～

- ▶ 地域支援事業 1,346万円
- ▶ 横道・谷地地区宅地開発指導事業 1,483万円

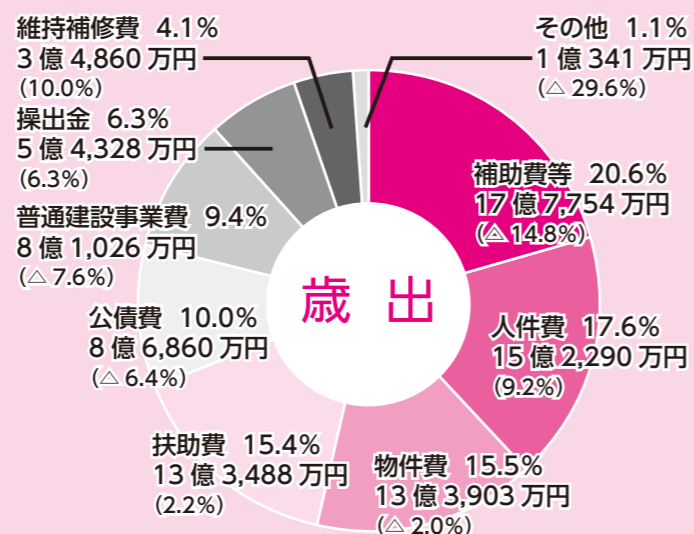
定住人口の増加のため、横道・谷地地区の良好な宅地開発を進めます。



- ▶ 地域公共交通網形成計画推進支援業務 595万円
  - ▶ 町民憲章制定50周年記念事業 436万円
  - ▶ 外国人観光客受入環境整備事業 453万円
- 新規事業

## 一般会計 86億4,848万円

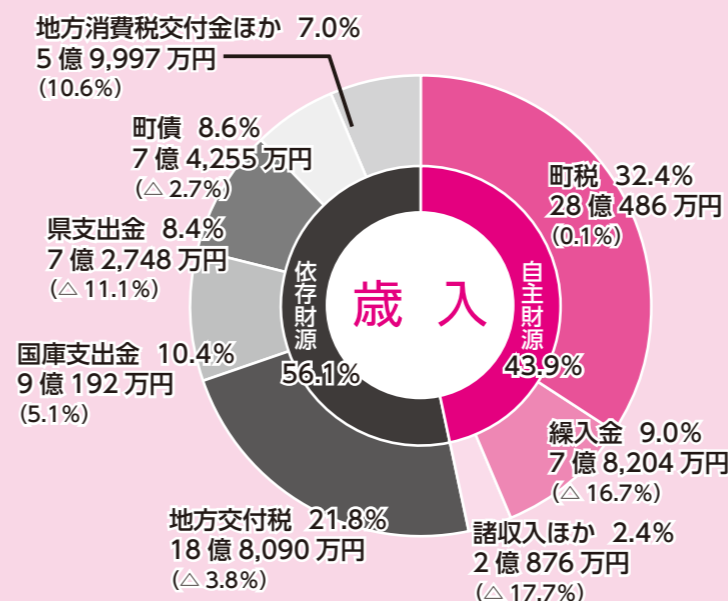
前年度比 △2億8,407万円 3.2%減



※( )内は前年度予算との比較

補助費等は、胆江地区衛生センターごみ焼却施設長寿命化事業に係る負担金の減により、前年度比3億787万円減の17億7,754万円です。

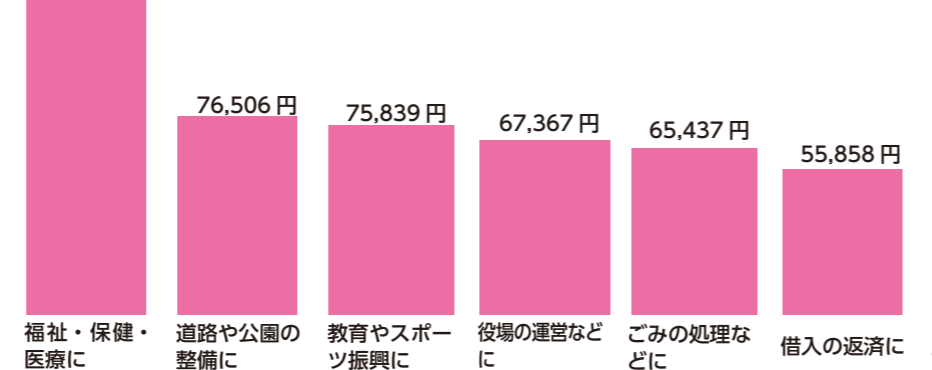
扶助費は、在宅子育て応援金の新設、保育園運営委託料の増により、2,863万円増の13億3,488万円です。



分担金及び負担金は、子育て家庭の負担軽減を目的とした保育料の減額や幼児保育無償化に伴う保育所入所負担金の減により、前年度比4,390万円減の3,871万円です。

町債は、法面対策工事や町道舗装補修事業などにより、2,077万円減の7億4,255万円です。

### 町民1人あたりの予算のつかいみち



### 町民1人あたりに使われる予算額 55万6,173円

※歳出総額を令和2年3月31日現在の人口(15,550人)で割ったもの

### 特別会計・企業会計予算

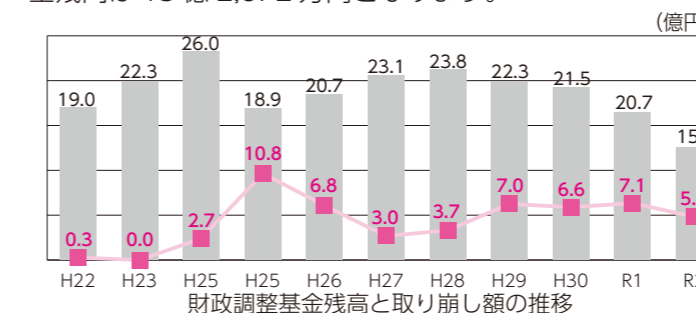
特別会計		35億4,871万円	
国民健康保険	14億6,957万円	前年度比	5.7%増
訪問介護ステーション事業	2,185万円		4.3%増
介護保険事業	15億2,285万円	10.0%増	0.02%増
介護サービス事業	448万円		9.0%増
診療施設(医科)	3億3,812万円	22.3%増	9.0%増
診療施設(歯科)	5,462万円		22.3%増
後期高齢者医療	1億3,721万円		1.9%増

企業会計		11億4,132万円※	
水道事業	3億7,266万円	前年度比	10.4%増
下水道事業	7億6,866万円		1.8%減

※収益的支出の額

### 財源不足に対応するため基金を活用

財源不足に対応するため財政調整基金、いわゆる貯金を取り崩すことにより予算を成り立たせています。令和2年度予算では5億4,477万円を取り崩しており、取り崩し後の基金残高は15億2,872万円となります。



# 令和2年度 予算

1年間の収入・支出は?

定住人口の増加にむけて 若者や女性の活躍支援や 活力や特色ある地域づくりを推進

第十次金ケ崎町総合発展計画の5年目となる令和2年度は、計画の締めくくりにあたって各施策を着実に実行し、「金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重点プロジェクト(若者、女性、地域)に関連する事業を優先的・重点的に実施することで定住人口の増加につながる施策展開を図ることとして予算編成を行いました。